

令和7年度高校生のためのおきげい講座一覧表

【受講の申込について】 ※受講希望の場合は各高校でとりまとめ、下記の期日まで沖縄県立芸術大学アドミッションセンターへ申込願います。

講義開始日
5月～7月末
9月～11月末
12月以降

No.	学部・コース	タイトル	開講 学期	担当教員名	開講日時	開講 曜日	受入人数	会場・設備	授業形態
1	音楽学部 管打楽・弦楽 コース	オーケストラ Ⅰ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ	前期		令和7年6月2日(月) 18:00～20:00 出入り自由	月	100名 程度	奏楽堂ホール	対面授業
2	音楽学部 管打楽コー ス	管打合奏Ⅰ～ Ⅳ	後期		令和7年11月13日(木) 18:00～21:00 出入り自由	木	100名 程度	奏楽堂ホール	対面授業
3	音楽学部・琉球古典音楽 コース	三線を弾こう！	前期	仲嶺伸吾、山 内昌也、新垣 俊道 ※教員は1 名、または数 名での実施 も可能	令和7年9月1日(月)～ 9月19日(金)	月・水・ 木・金	1クラスほどの 人数(30～40人程 度)	音楽教室など	対面
4	音楽学部・琉球古典音楽 コース	三線を弾こう！	後期	仲嶺伸吾、山 内昌也、新垣 俊道	令和8年2月4日(水)～ 2月20日(金)	月・水・ 木・金	1クラスほどの 人数(30～40人程 度)	音楽教室など	対面

				※教員は1名、または数名での実施も可能					
5	音楽学部・琉球古典音楽コース	琉球・沖縄の音楽について（講義と実演）	通年	仲嶺伸吾、山内昌也、新垣俊道	要相談	要相談	1～3クラス（要相談）	要相談	対面 または オンライン
6	音楽学部・琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コース	総合実習Ⅲ	前期	新垣俊道、嘉数道彦	令和7年7月4日（金）、11日（金）、18日（金）、25日（金） 4限 14:20～15:50	金曜日	40名	奏楽堂	対面
7	音楽学部・琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コース	総合実習Ⅳ	後期	新垣俊道、嘉数道彦	令和7年12月5日（金）、12日（金）、19日（金） 4限 14:20～15:50	金曜日	40名	奏楽堂	対面
8	音楽学部・琉球舞踊組踊コース（組踊）	組踊を唱えよう	前期	阿嘉修、嘉数道彦 *教員1名、または数名での実技も可能	令和7年9月1日（月）～9月19日（金）	月・水・木・金	1クラスほどの人数(30～40人程度)	音楽教室など	対面
9	音楽学部・琉球舞踊組踊コース（組踊）	組踊を唱えよう	後期	阿嘉修、嘉数道彦 *教員1名、または数名での実技も可能	令和8年2月4日（水）～2月20日（金）	月・水・木・金	1クラスほどの人数(30～40人程度)	音楽教室など	対面

10	音楽学部・琉球舞踊組踊 コース (琉球舞踊)	琉球舞踊を踊 ってみよう	前期	比嘉いずみ、 嘉数道彦 *教員1名、 または数名 での実技も 可能	令和7年9月1日(月)～ 9月19日(金)	月・水・ 木・金	1クラスほどの 人数(30～40人程 度)	体育館など	対面
11	音楽学部・琉球舞踊組踊 コース (琉球舞踊)	琉球舞踊を踊 ってみよう	後期	比嘉いずみ、 嘉数道彦 *教員1名、 または数名 での実技も 可能	令和8年2月4日(水)～ 2月20日(金)	月・水・ 木・金	1クラスほどの 人数(30～40人程 度)	体育館など	対面
12	音楽学部 音楽文化専攻音楽学コ ース	パラオに伝わ る日本語歌謡 による平和学 習	要相談	小西潤子	要相談	要相談	指定なし	高校教室 プレゼンテー ション音響映 像	対面
13	音楽学部 音楽文化専攻音楽学コ ース	歌舞伎《勧進 帳》を鑑賞し よう	要相談	高瀬澄子	要相談	要相談	指定なし	高校教室 視聴覚機材や インターネット 環境	対面
14	音楽学部 音楽文化沖縄文化コー ース	学園祭でも使 える！？高校 生のためのマ ーケティング 入門	応相談	谷本 裕	要相談	要相談	5人以上	高校教室 プレゼンテー ション用機材	対面
15	音楽学部 音楽文化専攻沖縄文化 コース	コンサートで 目指す共生社 会～障害者と	応相談	谷本 裕	要相談	要相談	5人以上	高校教室 プレゼンテー ション用機材	対面

		共に楽しむ舞台づくり							
16	音楽学部 音楽文化専攻沖縄文化 コース	海を渡ったウチナンチュ ーハワイ沖縄系移民 125 周年と沖縄芸能の世界	要相談	遠藤美奈	要相談	要相談	指定なし	高校教室 プレゼンテーション用教材	対面
17	音楽学部 音楽文化専攻沖縄文化 コース	エイサーだけじゃない ー沖縄のお盆と芸能	要相談	遠藤美奈	要相談	要相談	指定なし	高校教室 プレゼンテーション用教材	対面

1

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・音楽表現専攻・弦楽コース 管打楽コース
タイトル名（科目名）	オーケストラⅠ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ	科目担当者	阿部雅人 他 管弦打楽教員
授業概要：6月に開催されるモーツァルトレクイエムコンサートのリハーサルを行います。モーツァルト作曲「レクイエム」他、オーケストラと合唱で作品を仕上げていきます。			
授業方針：モーツァルトの作品のモチーフやサウンド等を研究します。合唱つきオーケストラのサウンドを楽しみつつ、授業を見学・体験してください。			
希望会場：沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール			
授業計画：【定員100名程度】6月2日（月）18：00～20：00（出入り自由） 公開リハーサル モーツァルト作曲「レクイエム」を担当教員の指示によりリハーサルを行います。			
備考：教科書やテキストはありません。許可のない撮影や録音・録画はできません。会場内は飲食禁止。			
教員からのメッセージ：慰霊の日を前に毎年開催されているコンサートです。音楽を通して平和について考える時間にしたいと思います。			

2

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・音楽表現専攻・管打楽コース
タイトル名（科目名）	管打合奏Ⅰ～Ⅳ	科目担当者	阿部雅人・澤村康恵・倉橋健・屋比久理夏 江戸聖一郎
授業概要：学内演奏会（吹奏楽）の集中リハーサルの初日になります。各作曲家の音楽様式や特徴を理解し、合奏の中で作品を仕上げていきます。			
授業方針：日本人作曲家と外国人作曲家の作品のモチーフの違いやサウンドの違いを研究します。吹奏楽ならではの演奏法やサウンドを学習します。			
希望会場：沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール			
授業計画：【定員100名程度】11月13日（木） 18：00～21：00（出入り自由） 公開リハーサル 授業で学習する作品は7月末までに大学ホームページで発表します。当日は担当教員の指示によりリハーサルを行います。			
備考：教科書やテキストはありません。許可のない撮影や録音・録画はできません。会場内は飲食禁止。			
教員からのメッセージ：一つの作品を大勢で協力し仕上げていく合奏は、とても楽しいものです。本学の合奏の雰囲気、吹奏楽の響きを体験してください。			

3、4

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・琉球芸能専攻
タイトル名（科目名）	三線を弾こう！（仮称）	科目担当者	仲嶺伸吾・山内昌也・新垣俊道 ※教員は1名、または数名での実施も可能
授業概要：高等学校音楽科目指導要領に含まれる「表現」「鑑賞」を含む授業です。三線の奏法や歌唱の実技を通して、知識や技能等を学びます。また、教員の演奏を鑑賞し、沖縄の伝統音楽や郷土愛に対する理解を深めます。			
授業方針：三線の基礎的な姿勢や扱い、工工四（楽譜）の読み方、基本的な演奏法を学び、最終的には「ていんさぐの花」や「安波節」の演奏ができることを目標とします。また、グループや受講者全員での合奏を通して表現力や協働性も学びます。三線を楽しみましょう。			
希望会場：演奏を伴うため音楽室や視聴覚室を希望する。			
授業計画：【定員 30～40 名程度 1 クラスほどの人数】50 分授業 高校と日程調整と楽器（三線）の有無の確認を行います。 ※授業は1回のみ、または2～3回と複数回の授業実施も可能。複数回の授業実施は、より深い習得につながる。 三線の基本的な構え・持ち方・姿勢・弾き方から学び、次に工工四（楽譜）の読み方、奏法や歌唱法を基本的な演奏法を学び、続いて「ていんさぐの花」「安波節」の楽曲を学びます。ある程度の習得に至った段階でグループや受講者全員での合奏を行います。			
備 考：教科書やテキストは事前に配布します。			
教員からのメッセージ：音楽経験に関わらず、三線や沖縄音楽に興味がある方は誰でも受講できます。一緒に楽しみましょう。			

授業形態	対面・オンライン授業	学部・コース名	音楽学部・琉球芸能専攻
タイトル名（科目名）	琉球・沖縄の音楽について （講義と実演）	科目担当者	仲嶺伸吾・山内昌也・新垣俊道
授業概要：高等学校音楽科目指導要領に含まれる「鑑賞」を含む授業です。琉球・沖縄の音楽の歴史を紐解き、演奏鑑賞を通じ、沖縄の伝統音楽や郷土愛に対する理解を深めます。			
授業方針：琉球古典音楽・沖縄民謡・沖縄ポップスなど琉球・沖縄の音楽を歴史的に説明します。また、琉球古典音楽を中心とする様々な演奏を鑑賞し、琉球王国時代から連綿と続く琉球・沖縄のアイデンティティについて学びます。			
希望会場：要相談			
授業計画：レジメをあらかじめデータでお渡ししますので、生徒たちへの配布をお願いいたします。 1クラスの人数や時間については要相談。演奏は生演奏です。（生音で演奏します）			
備 考：			
教員からのメッセージ：琉球・沖縄の音楽は「首里城」があったこそ「芸術」です。琉球古典音楽を聴くことにより、心の豊かさを感じてください。			

6、7

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・琉球芸能専攻
科目名	総合実習Ⅲ・Ⅳ	科目担当者	新垣俊道・嘉数道彦
授業概要：琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コースのクラス授業にて習得した技を奏楽堂ホールで総合的に実習する授業です。琉球古典音楽コースは、踊り手や立ち方を引き立てる間合いやテンポ感、または表現法など実演を通して学びます。また、舞台空間での声量や発声のあり方を確認します。琉球舞踊組踊コースは身体や発声で舞台空間を把握し、地謡音楽のテンポ感、間の取り方、発声の仕方、表現の仕方、舞台空間の使い方などを意識し、本番さながらの舞台での実践を習得します。また、本授業は演奏員による笛・胡弓・太鼓の演奏も加わり、より実践的な授業が展開されます。			
授業方針：本番さながらの実践的な授業を通して、舞台における演舞演奏をはじめ、立ち振る舞いを学びます。優雅な琉球芸能の世界をお楽しみください。			
会 場：沖縄県立芸術大学奏楽堂ホール			
授業計画：【定員各 40 名程度】前期：7月4日、11日、18日、25日の4限 14:20～15:50 後期：12月5日、12日、19日の4限 14:20～15:50 琉球舞踊（古典女踊り、二才踊り、雑踊り、創作舞踊）と組踊「万歳敵討（後半）」の演舞演奏を実舞台に近い環境で行い、舞台人・演奏家としての基本的な資質を学びます。			
備 考：教科書やテキストはありません。また、許可のない写真撮影や録音・録画は出来ません。会場内飲食禁止。			
教員からのメッセージ： 荘重かつ優美な琉球古典音楽と琉球舞踊・組踊の魅力を感じていただければ幸いです。			

8、9

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・琉球芸能専攻
タイトル名（科目名）	組踊を唱えよう（仮称）	科目担当者	阿嘉修、嘉数道彦 ※教員は1名、または数名での実施も可能
授業概要：高等学校音楽科目指導要領に含まれる「表現」「鑑賞」を含む授業です。組踊「執心鐘入」の唱えを通して、知識や技能等を学びます。また、教員の組踊「執心鐘入」若松の一場面の所作を鑑賞し、沖縄の伝統芸能や郷土愛に対する理解を深めます。			
授業方針：組踊の台本の読み方、基本的な唱え、抑揚を学び、最終的には「執心鐘入」の「若衆（若松）」と「女（宿の女）」の唱えができることを目標とします。また、グループや受講者全員で唱えを通して表現力や協働性も学びます。組踊を楽しみましょう。			
希望会場：唱えを伴うため音楽室や視聴覚室を希望する。			
授業計画：【定員 30～40 名程度 1 クラスほどの人数】50 分授業 高校と日程調整の確認を行います。 ※授業は1回のみ、または2～3回と複数回の授業実施も可能。複数回の授業実施は、より深い習得につながる。 組踊「執心鐘入」の台本の読み方、発音、発声から学び、次に基本的な唱えや抑揚、続いて「若衆（若松）」と「女（宿の女）」の唱え（問答の場）を学びます。ある程度の習得に至った段階でグループや受講者全員で「若松」と「宿の女」の一場面を唱えます。			
備 考：台本は事前に配布します。			
教員からのメッセージ：音楽経験に関わらず、組踊や琉球芸能に興味がある方は誰でも受講できます。一緒に楽しみましょう。			

10、11

授業形態	対面授業	学部・コース名	音楽学部・琉球芸能専攻
タイトル名（科目名）	琉球舞踊を踊ってみよう（仮称）	科目担当者	比嘉いずみ、嘉数道彦 ※教員は1名、または数名での実施も可能
授業概要：高等学校音楽科目指導要領に含まれる「表現」「鑑賞」を含む授業です。琉球舞踊の所作や表現法を通して、知識や技能等を学びます。また、教員の実演を鑑賞し、沖縄の伝統芸能や郷土愛に対する理解を深めます。			
授業方針：琉球舞踊の基本的な所作（構え、立ち方、歩み、姿勢等）や、女踊りの特徴的な手のこねりなどを学び、最終的には音楽に乗せて身体を動かし踊ることを目標とします。また、グループや受講者全員で息を合わせての演舞を通して表現力や協働性も学びます。琉球舞踊を楽しみましょう。			
希望会場：動きを伴うため、体育館等の広いスペースを希望する。			
授業計画：【定員 30～40 名程度 1 クラスほどの人数】50 分授業 高校と日程調整の確認を行います。 ※授業は1回のみ、または2～3回と複数回の授業実施も可能。複数回の授業実施は、より深い習得につながる。 琉球舞踊の成り立ちや、各ジャンルそれぞれの特徴を学び、基本的な所作や歩みを体験します。女踊りの特徴的な手のこねり等を学び、雑踊り「浜千鳥」の一節を学びます。ある程度の習得に至った段階でグループや受講者全員で「浜千鳥」の一節を踊ります。			
備 考：参考資料等は事前に配布します。動きやすい恰好、並びに靴下・足袋での参加をお願いいたします。			
教員からのメッセージ：舞踊経験に関わらず、琉球舞踊や琉球芸能に興味がある方は誰でも受講できます。一緒に楽しみましょう。			

12

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽文化専攻音楽学コース
タイトル名（科目名）	パラオに伝わる日本語歌謡による平和学習	科目担当者	小西 潤子
授業概要：パラオに伝わる日本語歌謡とその歴史的・文化的背景を理解し、音楽と平和について学びます。			
授業方針：音楽、国語、地理、歴史にまたがる総合的学習の題材となります。			
希望会場：パワーポイントを使ったプレゼンテーションと映像・音声提示ができる会場であれば、どこでも可能です。			
授業計画：高校との打ち合わせによって決めます。			
備 考：			
教員からのメッセージ：高校の授業方針に沿って、柔軟に対応します。			

13

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽文化専攻音楽学コース
タイトル名（科目名）	歌舞伎《勸進帳》を鑑賞しよう	科目担当者	高瀬澄子
授業概要：《勸進帳》の鑑賞を通して、日本の古典芸能である歌舞伎の魅力について学ぶ授業です。			
授業方針：音楽鑑賞の授業ですが、国語（古文・漢文）や日本史との関連を意識しながら学びます。			
希望会場：DVD等の視聴覚資料を使用できる教室を希望します。Wifi等、インターネットによる画像や動画を鑑賞できる環境があれば、なお望ましいです。			
授業計画：50分授業 15分：歌舞伎の解説、25分：《勸進帳》の鑑賞と解説、10分：感想			
備考：高校で使用している教科書に《勸進帳》が掲載されている場合はその教科書、そうでない場合は中学校の教科書を使用します。			
教員からのメッセージ：この授業をきっかけに、日本の伝統音楽や古典芸能に興味を持ってもらえると嬉しいです。			

14

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽文化専攻沖縄文化コース
タイトル名（科目名）	学園祭でも使える！？高校生のためのマーケティング入門	科目担当者	谷本 裕
授業概要：マーケティングの概念を平易に、学園祭の模擬店を例に説明。			
授業方針：音楽から発し、社会における組織経営を学ぶ授業です。			
希望会場：教室を希望。受入れ校の生徒とやり取りが出来ることが望ましい。			
授業計画：こうした内容に興味を持つ学生が、より受け入れやすい内容を学校側との協議により定める。			
備考：			
教員からのメッセージ：アートマネジメント（芸術経営）の基礎にある、「経営」の概念をなるべく分かりやすく伝えたい。			

15

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽文化専攻沖縄文化コース
タイトル名（科目名）	コンサートで目指す共生社会～障害者と共に楽しむ舞台づくり	科目担当者	谷本 裕
授業概要：ユニバーサルデザイン時代を迎え、「より幅広い人々に開かれた舞台芸術」を目指す試みを紹介			
授業方針：音楽や芸能を発信する劇場・音楽堂等などによる、障害者にも開かれた実演芸術を、「公共」の観点から概説します。			
希望会場：教室を希望。受入れ校の生徒とやり取りが出来ることが望ましい。			
授業計画：こうした内容に興味を持つ学生が、より受け入れやすい内容を学校側との協議により定める。			
備 考：			
教員からのメッセージ：近年の、アートマネジメント（芸術経営）の領域の拡大を皆さんに伝えたい。			

16

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽文化専攻沖縄文化コース
タイトル名（科目名）	海を渡ったウチナンチュ ハワイ沖縄系移民 125 周年と沖縄 芸能の世界	科目担当者	遠藤美奈
授業概要：今年は沖縄からハワイ移民が開始されて 125 年。ハワイに住むウチナンチュがどのような想いで故郷の芸能を継承してきたのかを紹介します。			
授業方針：沖縄の歴史を学びつつ、世界に広がる沖縄系移民と伝統芸能・民俗芸能について学びます。			
希望会場：パワーポイントを使ったプレゼンテーションと映像・音声提示ができる会場であれば、どこでも可能です。			
授業計画：学校側との協議で決めます（例：50 分授業 移民史概略 10 分、芸能紹介 25 分、実演体験 15 分）			
備 考：			

授業形態	対面	学部・コース名	音楽学部音楽文化専攻沖縄文化コース
タイトル名（科目名）	エイサーだけじゃない 沖縄のお盆と芸能	科目担当者	遠藤美奈
授業概要：沖縄本島の夏の風物詩となっているエイサーですが、沖縄の各地ではその他の芸能で祖先を弔います。多様な沖縄の盆の芸能を紹介します。			
授業方針：八重山諸島などに伝わる盆の歌や踊りについて学びます。			
希望会場：パワーポイントを使ったプレゼンテーションと映像・音声提示ができる会場であれば、どこでも可能です。			
授業計画：学校側との協議で決めます（例：50分授業 沖縄のお盆概略 10分、芸能紹介 35分、感想 5分）			
備 考：			
教員からのメッセージ：沖縄に伝わる歌や踊りについて、幅広く知る機会になってもらえたら嬉しいです。			